

[要点]

- (1)新政府は富国強兵を唱えて、近代工業を育てそれをもとに軍備を強めようとした。まず、群馬県の富岡製糸場などの官営工場を作って、近代産業をおこそうとしたが、これを殖産興業という。
- (2)さらに、徴兵令を出して、20歳以上の男子に兵役の義務を課した。

[A問題：要点確認]

- (1)新政府は()強兵を唱えて、近代工業を育てそれをもとに軍備を強めようとした。まず、群馬県の()などの官営工場を作って、近代産業をおこそうとしたが、これを殖産興業という。
- (2)新政府は富国強兵を唱えて、近代工業を育てそれをもとに軍備を強めようとした。まず、()県の富岡製糸場などの官営工場を作って、近代産業をおこそうとしたが、これを()という。
- (3)さらに、()令を出して、20歳以上の男子に兵役の義務を課した。

[B問題]

- (1)新政府は()を唱えて、近代工業を育てそれをもとに軍備を強めようとした。
- (2)新政府は、官営工場を作って、近代産業をおこそうとしたが、これを何というか。
- (3)官営工場の代表例としては、(A)県に作った(B)製糸場がある。
- (4)兵役の義務を負わせた法令は何か。
- (5)兵役の義務を負ったのはどんな人か。

[解答](1)富国強兵 (2)殖産興業 (3)A 群馬 B 富岡 (4)徴兵令 (5)20歳以上の男子

[C問題]

- (1)徴兵令は、明治政府の何という方針にもとづいているか。

[解答] (1)富国強兵